

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00316516

2024年8月13日

発信課	消防本部警防課
担当者	警防課（消防救助担当）消防士長 山田 健人
連絡先	電話 直通33-9962／内線811314
	FAX 33-1191
	E-mail keibo@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 [] 募集 [] 契約・入札 [] 会議・説明会 [] その他 [○]
日程	令和6年8月20日 15時30分 ~ 令和6年8月20日 16時15分
発表項目 (行事名)	第52回全国消防救助技術訓練大会出場に係る市長報告
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>1 趣旨 令和6年7月13日（土）に札幌市消防学校で開催された「第52回全道消防救助技術訓練指導会（以下「全道大会」という。）において、本市ロープブリッジ救出訓練及び障害突破訓練の両訓練隊が優秀な成績を収めたことから、同年8月23日（金）に千葉県消防学校で開催される「第52回全国消防救助技術大会」（以下「全国大会」という。）に出場することになり、市長報告を行うもの。</p> <p>2 市長報告 (1) 日時 令和6年8月20日（火）16時00分から16時15分 (2) 場所 旭川市総合庁舎 7階 第2応接室</p> <p>3 全国大会 (1) 日時 令和6年8月23日（金）9時00分から16時30分まで (2) 場所 千葉県市原市菊間783-1 千葉県消防学校 (3) 出場種目 「ロープブリッジ救出」、 「障害突破」の計2種目</p>
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道（取材）に当たってのお願い	<p>市長報告を取材していただく前に、旭川市南消防署車庫前で隊員に取材をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隊員取材 15:20～15:40 ・ 市長報告 16:00～16:15
備考	<p>出場隊員にあつては、当日、消防訓練場（旭川市北消防署永山出張所敷地内）で訓練を実施しています。</p> <p>15時過ぎに、南消防署車庫前に集合し、消防長へ出発報告予定です。その後、取材、市長報告という流れでお願いしたいと考えています。</p>

第52回全国消防救助技術大会出場に係る概要資料

令和6年7月13日(土)に札幌市消防学校で開催された「第52回全道消防救助技術訓練指導会(以下「全道大会」という。))において、本市ロープブリッジ救出訓練及び障害突破訓練の両訓練隊が優秀な成績を収めたことから、同年8月23日(金)に千葉県消防学校で開催される「第52回全国消防救助技術大会」(以下「全国大会」という。))に出場するもの。

1 全国大会の目的(全国大会実施計画から抜粋)

全国大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素を錬磨することを通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的とする。

また、全国大会を通じて広く全国の市民に、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、常に市民の目線に立って大会内容を研究し、全国大会を未来志向の大会とすることを目標とする。

2 開催日時

令和6年8月23日(金) 9時00分から16時30分まで

3 開催場所

千葉県市原市菊間783-1 千葉県消防学校

4 本市における直近3回の全国大会出場歴

(1) ロープブリッジ救出訓練

平成26年(第43回全国千葉大会) ※広島県の大規模災害の影響により中止。

平成29年(第46回全国宮城大会)

令和5年(第51回全国札幌大会)

(2) 障害突破訓練

平成30年(第47回全国京都大会) ※京都府の台風接近の影響により中止。

令和4年(第50回全国東京大会)

令和5年(第51回全国札幌大会)

5 参考資料

(1) 全国大会リーフレット

(2) 全国大会「実施案内」

【(参考) 本市出場種目及び訓練概要等】

○ ロープブリッジ救出訓練 (陸上の部)

・ 訓練概要

隊員2名が水平に展張されたロープ(20メートル)により対面する塔上へと進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出し、脱出します。火災建物の屋上や河川の中州などに取り残された要救助者を、隣の建物や対岸などから進入して救出するための訓練

・ 標準所要時間

1分15秒(本市の全道大会タイム52秒5)

○ 障害突破訓練 (陸上の部)

・ 訓練概要

隊員4名が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」という基本動作により5つの障害を突破していきます。災害現場の様々な障害を想定し、いかなる状況下においても、体力的・精神的に屈することなく迅速に対応できることを目指した総合的な訓練

・ 標準所要時間

2分37秒(本市の全道大会タイム1分48秒5)

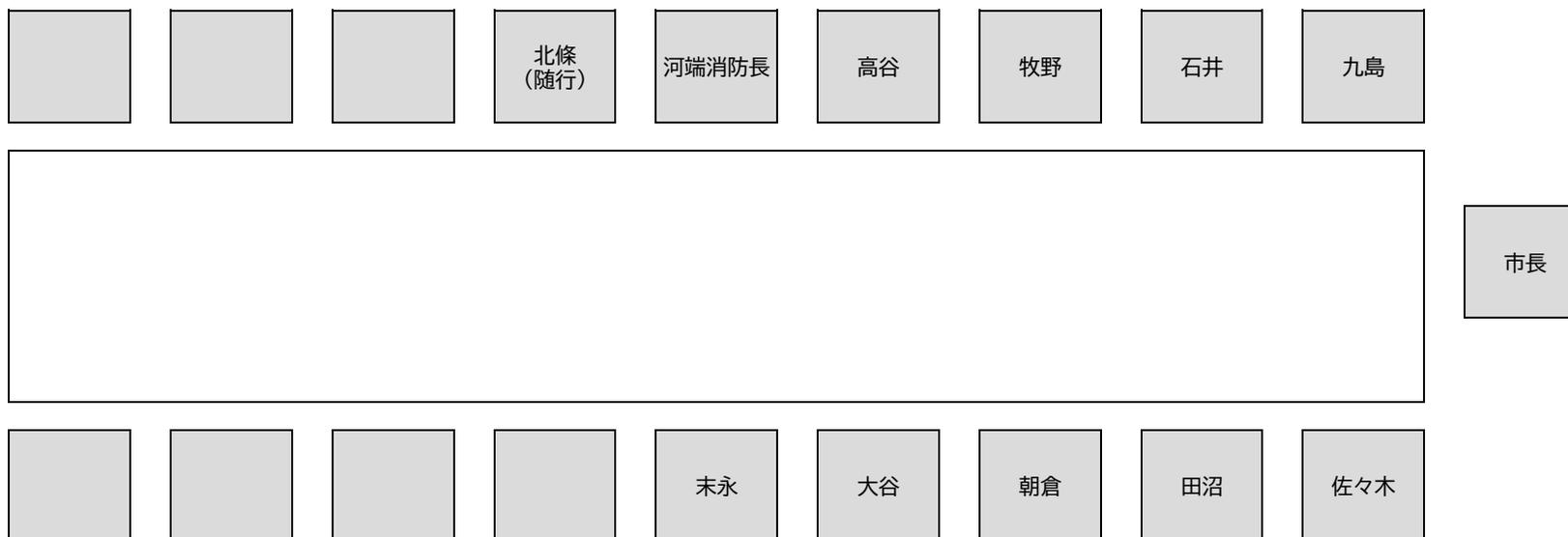
第52回全国消防救助技術大会出場に伴う市長表敬 座席図

日時： 令和6年8月20日

場所： 秘書課第2応接室

出入口

※消防本部から12人参加予定(消防長、随行者2、隊員9)です。
※別途、報道依頼をかけますので、記者の方が参加予定です。
※昨年度と同様の配置(案)です。



第52回全国消防救助技術訓練大会出場に係る市長報告 参加者名簿

・訓練隊員9人

所属	階級	氏名	種目	年齢
北消防署救助第2担当	消防士長	クシマ タイキ 九島 大樹	ロープブリッジ救出	40
北消防署救助第2担当	消防副士長	イシイ ケンシン 石井 剣心	ロープブリッジ救出	23
北消防署救助第2担当	消防副士長	マキノ サキョウ 牧野 左京	ロープブリッジ救出	26
北消防署救助第2担当	消防士	タカタニ ジュンペイ 高谷 純平	ロープブリッジ救出	23
北消防署救助第1担当	消防士長	ササキ タクロウ 佐々木 琢朗	障害突破	35
北消防署救助第1担当	消防副士長	タヌマ タクヤ 田沼 拓也	障害突破	28
北消防署救助第1担当	消防副士長	アサクラ ヒロキ 朝倉 浩貴	障害突破	24
北消防署救助第1担当	消防士	オオタニ シゲキ 大谷 成生	障害突破	22
北消防署救助第1担当	消防士	スエナガ リョウ 末永 稜	障害突破	23

・随行者3人

消防長 河端 勝彦

警防課主査 北條 二郎

警防課 山田 健人